

令和2年度事業実施報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度の協会運営は、令和2年の定時社員総会で承認された事業計画と予算に則り、公益社団法人として、代表理事会長・理事副会長のもと理事会の執行機関として8つの「委員会」を設置し、各「委員会」ごとに責任を持って事業を推進し、全体を調整する機関として「総括運営委員会」を置き、当協会の理念に基づき、多岐にわたる協会の事業を計画しました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ほとんどの事業について延期または中止せざるをえない状況となりました。

A. 公益事業

1. 日本写真協会賞の令和2年度表彰及び令和3年度選考 【表彰委員会】

○令和2年度対外発表及び表彰式、展示会の実施

- ・我が国の写真文化活動に顕著な功績が認められた内外の個人・団体をはじめ、前年に優れた作品・評論を発表された方々の中から2月20日に各賞の受賞者を選出し、3月24日の理事会で決定して、令和2年度日本写真協会賞を4月1日に、カメラ記者クラブ・関係諸機関・一般紙報道機関や公共機関にニュースレートを配布して、対外正式発表しました。また広く写真愛好家に告知するべく、広報活動にも注力しました。
- ・その後、6月1日に表彰式ならびに受賞者祝賀会パーティーを笹川記念会館(三田)で、また5月29日～6月4日の期間で受賞作品展を富士フィルムフォトサロン東京(六本木)で開催する予定でしたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のための非常事態宣言発令により、中止せざるをえなくなりました。表彰式ならびに受賞作品展は、新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で令和3年度に実施する予定です。

○選考委員 (敬称略、五十音順)

大西みつぐ(写真家)、河野和典(フォトエディター)、佐藤時啓(写真家)、土田ヒロミ(写真家)、松本徳彦(写真家)

○令和2年度受賞者及び受賞理由 (敬称略)

☆作家賞： 石川 直樹

最近作の写真集「EVEREST」や「まれびと」にも見られるように、膨大な冒険と様々な土地での民俗学的記録、その際立つ作家活動に対して。

☆新人賞： 池田 宏

アイヌの友人たちの懐に入りながら旺盛にコミュニケーションを続けて、10年間にわたり作品を作り続けている成果に対して。

☆新人賞： GOTO AKI

絶え間なく流動する地球(terra)の表情を、日本各地の名所や絶景にとどまらず、生命の胎動として表現した作品に対して。

☆国際賞： マーク・ピアソン

来日30年、アジアの写真に目を向けて、「禅フォトギャラリー」を設立。展示や写真集などをプロデュースすると共に収集家としても活動。その功績に対して。

☆功労賞： 宮澤孝一

70年を超える鉄道写真のオーソリティー。特に「路面電車」において、その時代の町のたたずまいと、そこに暮らす人びとの姿を記録し続けた功績に対して。

☆功労賞： 日本山岳写真協会

昭和14年結成され、創立80周年迎えた写真団体で、公募展、会員選抜展、セミナー、地方7支部での長年の活動で写真家の育成に励んでいることに対して。

☆学芸賞： 東京大学史料編纂所古写真研究プロジェクト 谷昭佳

古写真による「幕末・明治の日本」を政治経済、社会にまで視野を広げて、写真の果たしてきた役割や実績の解析を調査した研究に対して。

○令和3年度受賞者の選考

- ・全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年の写真活動がほとんど休止状態になったことを受け、令和3年度日本写真協会賞の選考は中止と致しました。

2. 「東京写真月間2020」の開催と「大阪写真月間2020」への協賛 【写真月間委員会】

今年で創設25年目を迎えた「東京写真月間2020」は、当協会及び東京都写真美術館共催、外務省、環境省、文化庁、東京都、駐日中華人民共和国大使館等の後援、各企業の協賛、その他多くの協力・特別協力を頂き、5月～6月の期間で、下記事業を開催する予定でしたが、全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「写真の日」記念写真展2020と大阪写真月間ハイスクールフォトアワード2020を実施し、その他の事業は延期もしくは中止となりました。

○開催した事業

- ・「東京写真月間2020」…「写真の日」記念写真展2020
910名2,186作品の応募があり、外務大臣賞として嶋田洋氏が、環境大臣賞として土屋芳孝氏が選ばれました（他に入賞・入選200作品）。但し、展示・表彰式は中止となりました。
- ・「大阪写真月間2020」…大阪写真月間ハイスクールフォトアワード2020（100,000円を協賛）
27校128作品の参加があり、グランプリに大阪府立生野高等学校 鈴木隆司さんが、日本写真協会会長賞に帝塚山学院中学校高等学校 橋本萌音さんが選ばれました（他に入賞8作品）。但し、展示・表彰式は中止。

○延期もしくは中止した事業

- ・「東京写真月間2020」
 - ・延期した事業…国内企画展「変わりゆく2020年代の写真-若い世代が考える写真の表現-」
 - ・国際展「アジアの写真家たち2020中国-江蘇省-」
 - ・中止した事業…1000人の写真展「わたしのこの一枚」
 - ・北海道・東川町「第6回高校生国際交流写真フェスティバル」
 - ・「親子の日写真まつり2020」緑と水の市民カレッジ
- ・「大阪写真月間2020」
 - ・中止した事業…小学生のための写真教室「親子で挑戦！モノクロ写真教室」
 - ・写真家150人の一坪展
 - ・写真展「私のこの一枚」

3. 国際交流活動 【国際交流委員会】・【写真月間委員会】

- ・中国安徽省郎溪での日中友好交流写真展に展示作品出展協力
期間：令和3年3月20日～27日 会場：中国安徽省郎溪县 主催：中国旅行新聞社、「中国撮影」雑誌社、安徽省郎溪县文化観光局、他
桜の名所で撮影された作品（当協会会員6名より17点出展）を、郎溪県の桜林に展示。オープニングで、日本駐中国大使館公使 伊藤直人文化参事官が、桜の木を植樹し、日中写真家の交流を図りました。
- ・日本写真協会賞新人賞受賞作品の海外での巡回展を予定していましたが、全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となりました。

4. 写真・映像教育の推進 【写真・映像教育推進委員会】

平成18年3月にスタートした写真・映像教育の推進事業は、子供達に写真の楽しさ、面白さなど感動と親しみを体験してもらうことを目的に、「ピンホール写真体験教室」ならびに「デジタル写真体験教室」を実施しており、令和2年度は30ヶ所1,200名を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校等の影響を受け、実施できませんでした。

5. 日本写真年鑑・東京写真月間図録の発行 【出版広報委員会】・【写真月間委員会】

1) 日本写真年鑑

「不特定多数の利益の増進に寄与する公益事業」として認定された「日本写真年報」は、更に公益事業に適合すべく、2013年版より「日本写真年鑑」と題し、従来の写真業界の年報としての機能に合わせ、年間を通じた写真界の幅広い情報を掲載しており、2020年版は例年通り10月の発行を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のための一時帰休、勤務時間短縮等の影響があり、タイトな編集スケジュールとなりましたが、年度内(3月)に発行することができました。

2) 東京写真月間図録

「東京写真月間2020」中止に伴い、「写真の日」記念写真展2020の受賞作品、日本写真協会賞受賞作品紹介、東京写真月間25年の歩みを中心に、図録を製作・頒布しました。

B. 共益事業

1. 会報の発行 【出版広報委員会】

令和2年度は、事業計画通り年2回、11月(秋・479号)・3月(春・480号)を発行し、各時点における協会及び会員の活動や今後の計画、写真文化情報などを紹介しました。また、11月には東京写真月間2020図録を全会員・賛助団体に郵送しました。

・主要掲載記事

479号:「写真家が切り取る緊急事態宣言下の日本」「社員総会報告」「杉木彬さん ありがとう」他

480号:「マーク・ピアソン フォトコレクション展に寄せて」「東京写真月間2021 開催に向けて」他

C. 法人運営事業

1. 公的機関が主催する写真コンテスト・イベントへの参加協力 【総務委員会】・【写真月間委員会】

公益社団法人に移行後、公的機関等からの写真コンテスト・イベントの相談及び協力依頼に対応しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「写真の町・東川町フォトフェスタ」が中止となり、公的機関主催イベントへの参加協力はありませんでした。

2. 社員総会・理事会・総括運営委員会の開催 【総務委員会】

5月25日の第1回通常理事会において、平成31年度事業報告、貸借対照表および損益計算書の承認、定時社員総会開催内容を決定致しました。7月14日に令和2年度定時社員総会を開催、議決権者1,625名、議決権行使866名(出席16名を含む)で平成31年度事業報告、令和2年度事業計画・予算を報告、平成31年度決算、理事交代に伴う役員改選、役員報酬総額を決定。総会終了後、第2回通常理事会を開催。令和3年3月24日に第3回通常理事会を书面にて開催。令和3年度事業計画、令和3年度予算を承認致しました。

また、11月17日、2月16日の2回、事業報告及び財務状況を代表理事会長、理事副会長に各委員会委員長が報告する総括運営委員会を開催しました。

※総括運営委員会は従来、奇数月に実施していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛および各事業中止により報告事項が無かったため、開催回数を減らしました。

3. 新型コロナウイルス感染症支援制度に対する申請 【事務局】

新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う経済悪化を受け、政府が様々な緊急経済対策を実施しています。当協会は、緊急事態宣言実施中に、事務局の一時帰休および勤務時間短縮を実施し、また収入も企業からのイベント協賛を中心に、昨年に対して大きく落ち込みました。そこで、職員に対する休業中の給与補償のために雇用調整助成金(厚生労働省)を、更に収入減を少しでも補填するために持続化給付金(中小企業庁)を、それぞれ申請し給付を受けることができました。

4. 展覧会等の後援 【総務委員会】

当協会は、公的機関や学校教育機関、マスコミ、写真関係団体等が主催し、内容が文化・教育・国際交流に寄与する写真展等に対して後援・協賛・協力を行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、イベント関係の延期・中止が相次ぎました。令和3年度実施分も含め、以下の催事をバックアップしています。

	申請者（≠主催者）	写真展名	会期・場所
1	一般社団法人 日本写真文化協会	「第66回全国展フォトコンテスト」	5月28日～6月4日 東京都美術館他 【展示は中止】
2	フォトグループいぶき	第9回「四季のいぶき」展	8月14日～8月20日 富士フィルムフォトサロン 東京
3	相模原市総合写真祭フォトシテイさがみはら実行委員会	相模原市総合写真祭フォトシテイさがみはら2020	4月1日～2021年3月31日 相模原市民ギャラリー他
4	日本山岳写真協会	2020年日本山岳写真協会展	8月31日～9月8日 東京都美術館他巡回 【中止】
5	NPO法人 東京画	TOKYO CURIOSITY2020	10月20日～11月12日 東急文化村ザ・ミュージアム
6	(株)プロメディア	PHOTONEXT 2020 【協力】	10月1日～2日 パシフィコ横浜 【中止】
7	一般社団法人 日本写真学会、写真感光材料工業会	PHOTONEXT 技術アカデミー 【協力】	10月1日 パシフィコ横浜 【中止】
8	日本写真家連盟	第35回「四季の彩り」展及び第10回「公募展」	応募期間：2021年8月10日～9月9日 写真展：2022年1月予定
9	長野県阿智村	第23回熊谷元一写真賞コンクール	応募締切：9月30日
10	東川町写真の町実行委員会	第35回東川町国際写真フェスティバル（フォトフェスタ2020）	2021年3月30日～5月5日 東川町町内一円
11	一般社団法人 東京都民間保育園協会	第3回「TOKYO 保育フォトコンテスト」「TOKYO 保育フォト展」	応募期間：4月1日～7月31日 TOKYO 保育フォト展：9月12日～15日アーツ千代田、11月16日八王子市各園都市センター他
12	にっぽん一大使たちの視線写真展実行委員会	にっぽん一大使たちの視線2020写真展	10月6日～11日 六本木ヒルズ、11月16日～21日 名古屋セントラルパークギャラリー、他巡回（神戸、横浜、東川町）
13	日本光画会	第55回日本光画会写真展	12月8日～2021年4月16日 大阪市立美術館 他巡回
14	公益社団法人 日本広告写真家協会	第12回「全国学校図工・美術写真公募展」	【展示中止】
15	公益財団法人 土門拳記念館	第15回写真展「わたしのこの一枚」【協力】	9月19日～10月11日 土門拳記念館
16	一般社団法人 日本写真文化協会	「第67回全国展フォトコンテスト」	【中止】
17	フォトグループいぶき	第10回「四季のいぶき」展	2021年4月30日～5月6日 富士フィルムフォトサロン東京 【延期】
18	公益社団法人 日本広告写真家協会	第12回「全国学校図工・美術写真公募展」	応募受付：2021年7月10日～11月10日 結果はオンラインで発表

附属明細書

該当事項がないため、記載を省略しております。

以上